

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式
① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 いかなる状況下でも相談や支援、居場所が必要な人たちを支えられる仕組みを

質問要旨

このたびの新型コロナウイルス感染拡大措置により、子どもから大人まで多くの人が外出の自粛を余儀なくされる事態となりました。こうした環境下で、自宅に居場所がない子どもたちやDVの危険にさらされている人、産前産後のサポートが必要な親子、心身に疾患、障がいのある人など、さまざまな事情を抱え苦しむ人たちの生活は、ますます厳しい状況に置かれています。

東京都でも5月25日に非常事態宣言が解除されることとなり、事態は一旦収束に向かうとみられていますが、こうした方々への今回のコロナ禍での市における対応はどうだったのか、必要な居場所の確保や支援は行われていたのか、その情報は必要な人たちに届いていたのか。また支える人たちの環境は守られていたのか。このたびの経験から学び得られた課題にきちんと向き合うことで、今後懸念されている第二波、第三波、またはその他の不測の事態が起きた場合にも、より迅速かつ適正な対応が取れるような体制づくりをしておく必要があると考え、以下質問いたします。

1. こだいら生活相談支援センターでの対応について、今年1月から5月までの相談件数の推移と相談内容の内訳をお示してください
2. コロナ禍のDVや虐待などにより家庭に居場所のない方たちへの対応について
 - (1) 今年に入ってから市内における虐待、DVの相談件数の推移をお示してください
 - (2) 特別定額給付金について、世帯住所とは異なる住所への送付希望件数は5月までに何件あったか、お示してください
 - (3) DVや虐待に苦しむ方々の緊急避難先（シェルター）について、市として案内できる場を確保できていたのでしょうか
 - (4) 小平市子ども家庭支援センターにおける対応についてお示してください
 - (5) 民生委員・児童委員や市のケースワーカー、市立小中学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活動状況についてお示してください
 - (6) 要保護児童対策地域協議会の開催状況についてお示してください
3. コロナ禍の産前産後のサポート状況について
 - (1) マタニティサポート面談や乳幼児健康診査の実施状況についてお示してください
 - (2) 乳児家庭全戸訪問事業や養育支援訪問事業の実施状況についてお示してください
 - (3) ファミリー・サポート・センターの稼働状況についてお示してください
4. あおぞら福祉センター及びたいよう福祉センター、障がい者地域自立生活支援センターひびき、地域生活支援センターあさやけについて、コロナ禍での稼働状況についてお示してください
5. 今後の市の対応について
 - (1) 経済の停滞から仕事や住居を失い生活困窮者が急増することが懸念されているが、とくに今後の生活相談と自殺防止対策について、どのような体制づくりを考えているか、見解をお示してください。
 - (2) 児童相談所の体制強化について、国から新たな予算が組まれる予定だが、市としての展望と見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和2年5月25日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山浦 まゆみ

受付番号【 】

27	26	25	24

- (/)